

北京訪問について

総合政策部国際課
平成26年9月24日

◆訪問の趣旨

道では、昭和61年の黒竜江省との友好提携を始め、中国との交流を着実に進めているところ。こうした中、平成24年4月、日中国国交正常化40周年記念の年に、唐家璇中日友好協会会長が就任後初の来日に際して北海道を訪問。知事との懇談の中で中国訪問のお誘いがあり、さらに、昨年、許金平前中国総領事帰国の際にも引き続き、唐会長を訪問することについてお話しがあった。その後、中日友好協会側から招聘状が届き、調整を続けてきたところ、今回、面談の機会を得たことから、訪問するもの。この面談を通して、今後の北海道と中国の友好関係の増進を目指す。

訪中に際しては、北海道への理解を促進する講演会及び北京在住北海道関係者との意見交換会を併せて実施する。

◆訪問日 平成26年10月18日（土）～10月19日（日）

◆訪問国 中華人民共和国北京市

◆訪問者 北海道知事、経済界及び教育界等（5名程度）

◆主な行事予定

<中日友好協会 唐家璇会長との面談>

○現在、中国と日本との交流推進の最先端で意欲的に活躍されている唐家璇中日友好協会会長との面談を通じて、中国と北海道のさらなる関係強化を図る。

<北海道プレゼンテーション>

○将来の中国と北海道との架け橋となり得る青年等を対象に、知事、経済界、大学関係者が交流拡大に向けたプレゼンテーションを行い、今後の両地域間の人と人の理解の促進と信頼の醸成を図る。

<北海道関係者との懇談会>

○「中国との架け橋づくり」をテーマに、北海道人会や道内金融機関の中国駐在者等と、交流を担う人材育成や文化交流、経済交流等についての意見交換を行う。